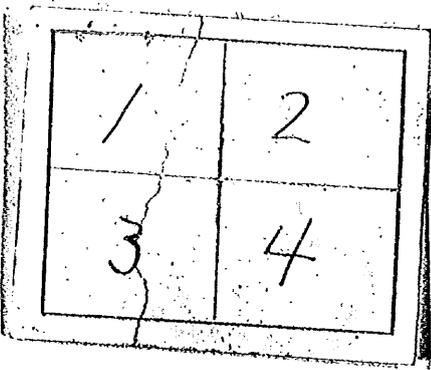


分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0587
0588
0589
0590

所 第四四軍第一〇七師團 部隊名 工兵第二〇七聯隊

通稱號 滿洲風二〇〇三三九

郵便所名

全般概要

一九、五、一六、編成

開戦時主力は五又溝にて陣地構築作業中、一ヶ月中隊は作業の爲新築に、一ヶ分隊は歩兵一七八隊と共に五又溝の攻撃隊に編成、一部はフラルギーに送附あり

二〇、八、一三、五又溝を左りし主力は四國の新築隊と共五又溝より新築に向ふ

二〇、八、一四、西口附近にて敵と遭遇、翌一五日迄奮闘、此間隊長以下約一〇〇名の戦死行方不明あり

二〇、八、一六、戦務難脱し「インゴ」に送附あり、中五什台にて再び敵と遭遇、翌三日の夜「インゴ」に到着

二〇、八、二九、同地にて終戦式終、戦後師團主力と共にチチハルに收容

二〇、一〇、中旬、作業第一八大隊編成下包入「ソ」フラルギーに送附あり、自給車にて新築移動中北安にて「ソ」軍に抑留入「ソ」

轉入 十九年以降 一九、六、三〇 混成七聯隊 二〇四名

轉出 十九年以降

員人制編

別 隊

隊長名 (内は先代を示す) 少佐 押川一美 少佐 永井 清

駐屯地 溝又五 台什五・口西

戰鬥間の状況及損耗 西口附近に戦務隊長指揮せるも、戦後各小隊毎獨立任務遂行、各隊一部は各歩兵聯隊に送附

終戦後の人員變動

作業大隊より入「ソ」迄の變動

入「ソ」人員 除別計

滿洲残留

收 入「ソ」人員 除別計 滿洲残留

961名

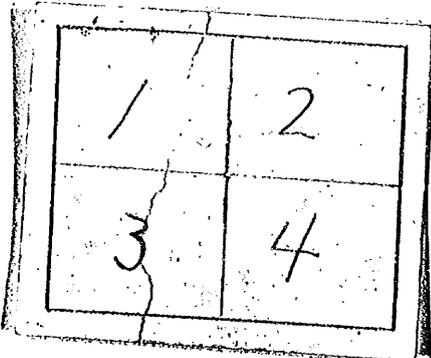
中 三 第	隊 中 二 第	隊 中 一 第	部 本 隊 聯
	中尉 丸井 大陸		
	溝又五		溝又五
	台什五・口西		台什五・口西
	戦隊長戦死後、丸井中尉指揮す		

タルバカタイ 第六分所

プログレス

隊名		通稱號		郵便所名	
工兵第二〇七聯隊		風滿二〇〇三九		郵便所名	
隊別	聯隊本部	第一中隊	第二中隊	第三中隊	人員編制
隊長名 (内は先代を示す) 少佐 押川一美 少佐 永井 清			中尉 丸井 大隆		
隨人 戰時 平時					
駐屯地			溝又五	溝又五	
戰鬥間の狀況及損耗			台什五・口 西	台什五・口 西	
終戦後の人員變動			專隊に戦死後、丸井中尉指揮す		
作業大隊より入ソノ迄の變動					
入ソノ人員					
滿洲残留					
收容所名			タルバカタイ 第六分所	フログレス	
收容所					
歸還人員					
狀況不明者數					

分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A3判以上のため
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0591
0592

第四四軍第一〇七師團 部隊名 第一〇七師團通信隊

通稱號 風二〇〇〇二二一

郵便所名

0593
0594

全般概要

一九、五、一六、編成
二〇、八、九、隊後部師團司令部と同一行動す

二〇、八、一三、西口附近にて敵と遭遇部隊は直接戦ふなし

二〇、八、一六、進路變更「ハヤミヤザ」經「イノト」に向ふ、行軍間の搭位者若干あり

二〇、八、二三、五什合にて優勢なる敵と遭遇、二七日に至り敵隊を突散、損害は無き獲獲

二〇、八、二九、「イノト」にて終戦武備、爾後隊主力と同行隊チハルに收容さる

二〇、一〇、中旬、作業大隊編成の爲分隊さる、大隊は一五作業大隊に編入一〇月下旬入ソ

轉入
十九年以降

轉出
十九年以降

一九六、三〇
阿爾山駐屯通信隊 八三名
チハル方面 五〇名
自一九一〇、一五、二二、二四、五七師團通信隊 一〇一名
二〇、六、チハル方面 六〇名

員人編編

239

隊別	隊長名 (内は先代を示す) 少佐 島中三次郎	隊本部	線		駐屯地	戦闘間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入ソ迄の變動	入ソ人員	隊別計	滿洲残留
			有	無							
			右同	右同	五又五 西口						
			右同	右同	五又五 西口						

收容

チタ地區 第二四ノ一收容所

隊中線無		隊中線有		本部		別隊	
						隊長名 (内は先代を示す) 少佐 島中三太郎	開人 戦時 人員
	右同		右同		五又五	平時	駐屯地
	右同		右同		西口五台	戦時	駐屯地
戦闘間の状況及損耗							
終戦後の人員變動							
作業大隊より入ソ迄の變動							
入ソ人員							
満洲残留							
收容所名 チタ地区 第二四ノ二收容所							
所人							
死亡							
満洲より領							
計							
者数							
状況不明							

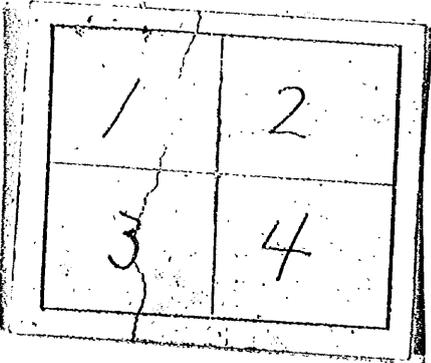
部隊名 第一〇七師團通信隊

通稱號 風二〇〇二一

郵便所名

	隊 中 線 無	隊 中 線 有	部 本
			少 陸 皇 行 三 次 郎
	右 同	右 同	海 又 五
	右 同	右 同	台 行 五 口 西
			所 第 二 四 ノ 二 枚 陸 皇 行 三 次 郎

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

1014名				出	編
中三第	隊中二第	隊中一第	部本隊聯	別隊	員人編
畑尾	中尉 谷口 光雄	中尉 野村久兵衛	少佐 綿織喜八郎	隊長名 (内は先代を示す)	
	約800			時員	入
右同	右同	右同	溝又五	平時	駐屯地
倫索	右同	台什五 口西	倫索	戦時	
				戦闘間の状況及損耗	
				終戦後の人員變動	
				作業大隊より入ソ連の變動	
				隊別計	入ソ連人員
				滿洲残留	
				收容所名	收容所
				員所	死亡
				より	滿洲より
				計	人員
				者	状況不明
				数	

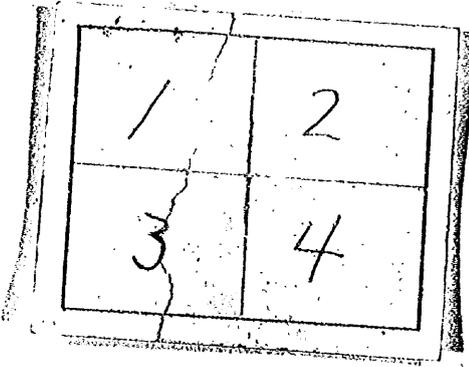
部隊名 輜重兵第一〇七聯隊

通稱號

風滿 二〇四 五二〇二

郵便所名

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0533
0600

第四軍第一〇七師團 部隊名 第二〇七師團兵器勤務隊

通稱 風一三九五九

郵便所名

0601
0602

全般概要		轉入	轉出	員人別編		隊別		隊長名		開入		駐屯地		戦闘間の状況及損耗		終戦後の人員變動		作業大隊より入ソ連の變動		入ソ連人員		滿洲残留		收容	
<p>二〇、五、一、編隊下令</p> <p>二〇、五、三、編隊完結</p> <p>二〇、八、九、開隊時五又五ノ在リ</p> <p>二〇、八、一〇、師團の新兵器運送より五又五ノ在リ</p> <p>二〇、八、一三、一五、西口附近にて戦車を伴ふ敵と運送交戦一五日</p> <p>戦場離脱</p> <p>軍死行方不明約四〇</p> <p>二〇、八、一六、一ハマコ「ザ」に集結</p> <p>二〇、八、二三、五什合に於て敵と運送交戦</p> <p>八、二四、夜に到り之を突敵</p> <p>戦死者戦傷者以下数名</p> <p>二〇、八、二七、「ノント」に集結</p> <p>二〇、八、二九、戦場武裝解除、爾後英安「徳伯斯」チチハル小民屯に收容、</p> <p>二〇、一〇、二五、同地收容</p>		十九年以降	十九年以降	112名		本 部		中尉 森 康信		戦時		五又五ノ構												チチハル地区 ホルテ收容	
						作 業 班				60		右 同													
						送 給 班				60		右 同													

部隊名 第一〇七師團兵器勤務隊

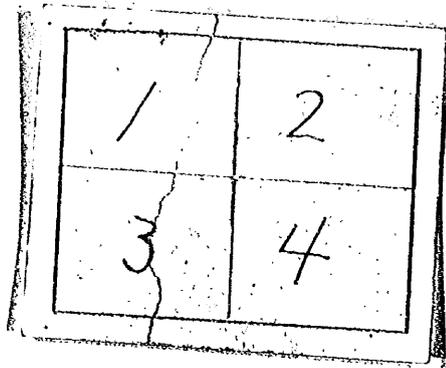
通稱 風一三九五九

郵便所名

班	送	檢	班	業	作	部	本	別	隊
								隊長名 (内は先代を示す) 中尉 森 康信	
	60			60				戦時 人員	
		右 同			右 同		溝又五	駐 屯 地	
		右 同			右 同		台什五 口 西	平時 戦時	
								戦闘間の状況及損耗	
								終戦後の人員變動	
								作業大隊より 入「ソ」迄の變動	
								隊別 計	入「ソ」人員
									満洲 残留
								収容所名 チタ地区 ホルテ収容所	収容所
									所入
									死亡
									満洲 より
									ソ領 より
									計
									者 数
									状況不明

分割撮影ターゲット

分割した
部分の
撮影順序



分割撮影
した理由

A 3判以上のため

上記のとおり分割撮影した事を証明する。

第四四軍第一〇七師團部隊名 第一〇七師團病馬廠

通稱號

風一〇六二

郵便所名

0603
0604
0605
0606

全般概要

轉入
十九年以降

轉出
十九年以降

人員編制
別隊

隊長名
(内は先代を示す)

駐屯地
時人員
平時
戰時

戰鬥間の状況及損耗

終戦後の人員變動

作業大隊より
入ソンの變動

入ソン人員
隊別計

滿洲殘留

二〇、五、七、編成下令

二〇、五、一四、編成完結

二〇、八、九、〇七、三〇
命令受領、戰斗態勢に移る

二〇、八、一〇、新京轉送
命令より自動車隊一八名
を先發せしむ、爾後不明

二〇、八、一一、主力五又
隊發

二〇、八、二四、二六、五
竹台にて敵と交戦

二〇、八、二九、一、イ、
「ル」對面同日武備、爾後
與安、遠伯斯を越てチチハ
ル小民屯に收容

二〇、一〇、二四、チチハ
ル第一六作業大隊編入翌日
同地發入ソ

開戦時勳賞受領の爲め
隊員、外官長以下五名
自動車輸送の爲、「チチハ
ル」(一) 應征至以下五名

119名

114名

獸大尉 神田 清

溝又五

台什五 口 西

小民屯に於て隊員二名

神田大尉及兵一名並に大隊

收 容
タムバ
五二收
第六分

部隊名 第二〇七師團病馬廠 通稱號 風一二〇六一 郵便所名

119名	員人編	隊長名 (内は先代を示す) 隊大尉 神田 清	駐屯地 西口 五台	戦闘中の状況及損耗	終戦後の人員變動 小隊に於て離隊二名	作業大隊より 入ッ迄の變動 神田大尉及兵一名遊撃大隊	入ッ人員 隊別計	満洲残留	收容所名 タルバカタニ 五二收容所 第六分所	收容所 員所入 死亡	満洲より より領 計	歸還人員 者数	状況不明
114名	員人		五台										

<p>二〇、八、二九、「イン 」と記述あり。同 果安一徳由所を 小見港に到着</p>	<p>二〇、八、二九、「イン 」と記述あり。同 果安一徳由所を 小見港に到着</p>	<p>二〇、八、二九、「イン 」と記述あり。同 果安一徳由所を 小見港に到着</p>	<p>二〇、八、二九、「イン 」と記述あり。同 果安一徳由所を 小見港に到着</p>	<p>二〇、八、二九、「イン 」と記述あり。同 果安一徳由所を 小見港に到着</p>	<p>二〇、八、二九、「イン 」と記述あり。同 果安一徳由所を 小見港に到着</p>
119名					
114名					
三 文 三					
三 台 三					

119名

大
三
三

114名

文

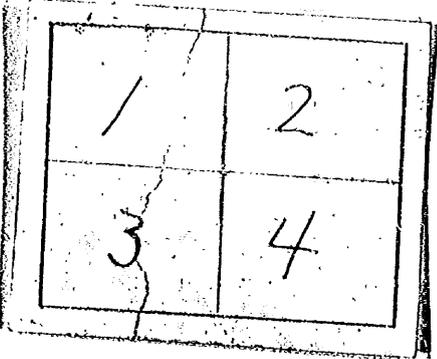
台
日

大
三
三

大
三
三

大
三
三
六

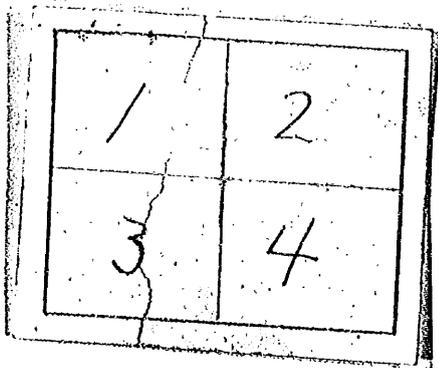
分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

部 疫 防		部 水 給		部 本		別 隊	員 人 制 編
醫大尉 監井匡夫						隊長名 ()内は先代を示す 醫少佐 佐久間榮枝	隊 名
18.2名						開人 時費	第一〇七師團防疫給水部
右 同		右 同		溝又五		駐 屯 地	通 稱 號
右 同		右 同		台什五 口 内		戦 闘 間 の 状 況 及 損 耗	風 滿 一 〇 〇 九 二 七 四
						終戦後の人員變動	郵 便 所 名
						作業大隊より 入ソ連の變動	
						入ソ連人員 除別計	
						滿洲残留	
		チガンヒル收容所		收容所名 ジツビブーゲン 收容所		收 容 所	
						所 入 死 亡	
						滿洲より ソ連より	歸 還 人 員
						計	
						者 数	狀 況 不 明

防 疫 部	給 水 部	本 部
醫大尉 鹽井匡夫		釜少佐 佐久間榮茂
182名		
右 同	右 同	溝又五
右 同	右 同	台付五 口 内
	チガンビル收容所	ジンビブーゲン 收容所

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0611

0612

0613

0614

第四軍第一〇七師團 部隊名 第一〇七師團挺進大隊

通稱號 風二〇〇一一

郵便所名

全般概要

二〇、七、一〇、福沢完結
(於五支隊隊員各隊より
抽出)

二〇、八、一〇、師團の新
京轉進により五支隊發

二〇、八、一二、西口尾で
遊と遊進
一四日、一五日の間西攻、
新公突進
戦死 約四〇〇
負傷 約一〇〇〇
行方不明約二五名
在滿五支隊の進軍あり

二〇、八、一六、戦務進展
「ハコロ」に集結「イ
ントール」に向ふ

二〇、八、二四、五什台に
て戦手損害大

二〇、八、二九、「イント
ール」に到り、武務進展
興安(九、五)
進給所(九、二二)
を經て一〇月上旬「チ
」に收容
第一九作業大隊編成、一〇
月二三日、
(武務進展興安に到る間在滿
召集者の進隊多数)
一隊負傷者は短期中に帰
入

轉入
十九年以降

轉出
十九年以降

員人編編

1130名

別隊

隊長名
(内は先代を示す)

大尉 野村 彰

駐屯地
溝又五
台什五 口西

戰鬥間の状況及損耗

終戦後の人員變動

作業大隊より
入「ソ」迄の變動

入「ソ」人員
除別計

滿洲殘留

所
ハタ
チタ
収

1130名				員人制編
三 第	隊 中 二 第	隊 中 一 第	部 本 隊 大	別 隊
中尉	小松	中尉 大木 准尉 増澤	大尉 野村 彰	隊長 名 ()内は先代を示す
	約1000			隊員 数 隊員 数
右 同	右 同	右 同	右 同	駐 屯 地 平 時 戦 時
右 同	右 同	右 同	右 同	戦 斗 間 の 状 況 及 損 耗
二〇、八、一五、師團の轉進後露の公戦中隊長以下全隊に近き損害あり				終 戦 後 の 人 員 變 動
				作 業 大 隊 以 前 入「ソ」迄の變動
				入「ソ」人員 隊 別 計
				滿 洲 殘 留
				收 容 所 名 チタ地区 ハタブラーリ收容所
				所 入 死 亡
				滿 洲 以 前 より領 計
				歸 還 人 員 者 数 状 況 不 明

部隊名 第一〇七師團挺進大隊

通稱號 風二〇〇一

郵便所名

二〇、八、一〇、陸軍の第
三師団(三三三)の編成
(注)

二〇、八、一〇、陸軍の第
三師団(三三三)の編成
に於ける兵隊の補充

二〇、八、一〇、陸軍の第
三師団(三三三)の編成
に於ける兵隊の補充

二〇、八、一〇、陸軍の第
三師団(三三三)の編成
に於ける兵隊の補充

二〇、八、一〇、陸軍の第
三師団(三三三)の編成
に於ける兵隊の補充

二〇、八、一〇、陸軍の第
三師団(三三三)の編成
に於ける兵隊の補充

二〇、八、一〇、陸軍の第
三師団(三三三)の編成
に於ける兵隊の補充

二〇、八、一〇、陸軍の第
三師団(三三三)の編成
に於ける兵隊の補充

二〇、八、一〇、陸軍の第
三師団(三三三)の編成
に於ける兵隊の補充

1130名

第六師団本部

第一中隊

第二中隊

第三中隊

大尉 宮本 義
中尉 大木 隆
中尉 大木 隆

約1000

三又三

三 二 西

二〇、八、一五、師団の編成に於ける兵隊の補充に近き損害あり

隊 中 三 第	隊 中 二 第	隊 中 一 第	部 本 隊 六
中尉	小松	中尉 大木 准尉 増澤	大尉 長谷 部
	約1000		
右 同	右 同	右 同	隊 交 三
右 同	右 同	右 同	台 行 五 二 兩
二〇、八、一五、新田の轉進投擲の爲、 中隊長以下全滅して近き損害あり			
			チタ タ ハ タ プ ラ ン コ ウ 救 察 隊